

## 日本イラン建築・都市会議

### 背景と目的

イランと日本の関係は、産油国－原油輸入国として資源エネルギーをめぐる関係を介して大変緊密ですが、地理的・地政学的な制約から他のアジア諸国や欧米の国々とは異なって限定的であると言わざるをえません。それでも、古くはシルクロードを介した東西交流、近代に入ってはアジアの君主制国家としての国家像を共有する関係を結ぶに到り、社会・文化面でさまざまな繋がりをを見せてきたことは間違いありません。実際、イランの日本に対するまなごしは熱く、パフラヴィー朝時代からイスラーム革命後の今日まで一貫して親日国であり続けています。

都市計画・建築の分野に関していえばその関係は格段に高く、この数十年の間にさまざまな人的・事業的关系が継続してきました。たとえば、丹下健三らによるテヘラン都市開発（1970年代）、イラン人建築家ファシッド・ムサビによる横浜大棧橋客船ターミナルの設計（2002）、日建設計によるテヘラン国際空港の設計（2010年代）、あるいは地震国として防災技術面での相互協力やユネスコ世界遺産をめぐる相互協力といった具合に、両国の往来は頻繁となっています。

ところが、過去半世紀にわたるこの領域における都市計画や建築の実相については、基礎資料が散逸し、関係者も亡命や高齢化のために十分な聞き取りもできておらず、このままでは20世紀後半の泡沫的な出来事として忘れ去られる危険性が高くなってきました。

日本建築学会および日本建築文化保存協会は、中東における建築・都市計画分野の歴史的重要性に鑑み、昨年度よりイランでの日本紹介行事を支え、同時に関係者の聞き取りや史資料の収集を行ってきました。

その成果を踏まえ、本年度は国際連続行事の一環として、日本2018年初頭に日本において「日本イラン都市会議」を行う運びとなりました。

今日の地球環境問題・防災問題を視野に入れつつ、都市・文化・芸術の側面から両国の新たな関係を築くことを目標に、過去の蓄積を実証的に検証し、現代史の一部として評価を加えることが狙いです。

### イベント概要

イベント名	日程	会場
建築展 第一会場	2018年3月4日(日)～3月20日(火)	建築博物館ギャラリー
建築展 第二会場	2018年3月3日(土)～5月6日(火)	寺田倉庫 BC号棟 2F
国際会議 第一日	2018年3月5日(月) 13:30～17:30	建築会館ホール
国際会議 第二日	2018年3月6日(火) 18:30～20:30	寺田倉庫 BC号棟 1F
学生ワークショップ	2018年2月27日(火)～3月5日(月)	青少年交流の家(御殿場)、 建築会館ホール